

- 問1 日本の農業に関する統計データにおいて、北海道が他の地方と比較して圧倒的に高い数値を示している二つの項目の組み合わせとして、最も適切なものはどれですか。 (2017年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------|--------------------------------|-------------------------------------|---------------------------------------|
| 1. 総農家数に占める兼業農家の割合と、一人あたりの労働時間 | 2. 単位面積あたりの農業従事者数と、一人あたりの肥料使用量 | 3. 農業従事者一人あたりの耕地面積と、一人あたりのトラクター保有台数 | 4. 農業従事者一人あたりの農業使用量と、一人あたりのビニールハウスの面積 |
|--------------------------------|--------------------------------|-------------------------------------|---------------------------------------|
- 問2 北海道の北東に位置する国後島などの北方領土をめぐる、日本政府の立場や現状についての説明として正しいものはどれか。 (2019年 岡山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 日露と親条約においてロシア領と決められたが、日本は歴史的な経緯から返還を求めている。 | 2. サンフランシスコ平和条約において日本が放棄した千島列島の一部であり、現在は国際連合の管理下にある。 | 3. 日本固有の領土であるが、第二次世界大戦終結直後から現在までロシアによって法的根拠なく占拠されている。 | 4. 北海道の根室半島から最も遠い位置にあるため、現在はロシアとの間で共同統治を行うことで合意している。 |
|---|--|---|--|
- 問3 夏の北海道の太平洋沿岸において、寒流の影響で湿った空気が冷やされることにより発生し、日照時間の減少や気温が上がりにくくなる原因となっている気象現象を何といいますか。 (2025年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|----------|-------|--------|
| 1. やませ | 2. 線状降水帯 | 3. 濃霧 | 4. 季節風 |
|--------|----------|-------|--------|
- 問4 北海道の十勝平野などで見られる、一つの耕地をいくつかの区画に分け、年度ごとにジャガイモ、小麦、てん菜（ビート）、豆類などの異なる作物を順番に栽培する農業手法を何といいますか。 (2024年 滋賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|-------|--------|-------|
| 1. 二毛作 | 2. 輪作 | 3. 二期作 | 4. 転作 |
|--------|-------|--------|-------|
- 問5 北海道の知床半島のすぐ東側に位置し、択捉島、色丹島、歯舞群島とともに、日本固有の領土でありながら現在はロシアによって法的根拠なく占拠されている島を何というか。 (2019年 岡山県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|--------|---------|
| 1. 国後島 | 2. 色丹島 | 3. 択捉島 | 4. 歯舞群島 |
|--------|--------|--------|---------|
- 問6 1899年に制定された北海道旧土人保護法が廃止され、アイヌの人々の民族としての誇りを尊重し、その伝統や文化の保存・振興を図ることを目的として1997年に施行された法律の名称を答えなさい。 (2023年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------|-------------|-----------|----------|
| 1. アイヌ文化振興法 | 2. アイヌ民族支援法 | 3. 北海道開発法 | 4. アイヌ新法 |
|-------------|-------------|-----------|----------|
- 問7 北海道の旭川市など、内陸部の都市の開発に関連した歴史的背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2016年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|------------------------------------|
| 1. 江戸時代に松前藩が交易の拠点として整備し、本州からの商人が集まって形成された | 2. 明治時代以降、屯田兵が配置され、北方警備と並行して農地の開拓が行われた | 3. アイヌの人々が古くから築いていた大規模な城郭都市を、明治政府が接收して発展させた | 4. 戦後の高度経済成長期に、石炭採掘の拠点としてゼロから建設された |
|---|--|---|------------------------------------|
- 問8 北海道の釧路市周辺では、夏の時期に「海霧」と呼ばれる濃霧が発生し、日照時間が短くなるという気候上の特徴が見られます。このような現象が起こる背景として、地形や海流の影響を説明したものとして最も適切なものを次の中から選びなさい。 (2021年 茨城県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 南東からの湿った季節風が、寒流である千島海流（親潮）の上を通る際に冷やされるため。 | 2. オホーツク海高気圧から吹き出す冷涼な風が、大雪山系を越える際に上昇気流を作るため。 | 3. 北西からの乾燥した季節風が、暖流である日本海流（黒潮）の影響で湿気を帯びるため。 | 4. 熱帯低気圧から変わった温帯低気圧が、太平洋沿岸の暖流によって勢力を強めるため。 |
|--|--|---|--|
- 問9 北海道東部の釧路市周辺には広大な湿地が広がっています。この地域の自然環境と農業について述べた文として正しいものはどれですか。 (2021年 宮城県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 広大な湿地を干拓して大規模な水田地帯が作られており、石狩平野と並ぶ北海道有数の米の産地となっている。 | 2. 夏季に発生する霧の影響で気温が上がりにくいため、稲作よりも、冷涼な気候に適した酪農が盛んに行われている。 | 3. 冬に北西から吹く湿った季節風が山脈に突き当たり、世界有数の豪雪地帯となるため、冬の間の農業は行われない。 | 4. 年間を通じて温暖な対馬海流の影響を強く受けているため、冬でも雪がほとんど降らず、野菜の促成栽培が行われている。 |
|---|---|---|--|
- 問10 札幌と東京の月平均気温および降水量を比較した際、札幌の気候的特色について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2021年 茨城県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 一年を通して月平均気温が東京よりも高く、12月から2月の降水量は東京より少ない。 | 2. 夏の気温は東京と同程度まで上昇するが、冬は乾燥した北東の季節風の影響で降水量が減る。 | 3. 一年を通して月平均気温が東京よりも低く、12月から2月の降水量が東京を上回る。 | 4. 1月の平均気温は0度を上回るが、北西の季節風の影響で冬の降水量が東京より多くなる。 |
|---|---|--|--|
- 問11 日本の地理に関連して、北海道の知床や鹿児島県の屋久島は、その貴重な自然環境が評価され、「世界遺産リスト」に登録されています。このように、世界の文化遺産や自然遺産の保護を推進している国際機関はどれですか。 (2016年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------|--------------|---------|-----------|
| 1. 世界貿易機関 | 2. 東南アジア諸国連合 | 3. ユネスコ | 4. 国連児童基金 |
|-----------|--------------|---------|-----------|
- 問12 北海道の農業は、農業従事者一人あたりの耕地面積が非常に広いことが特徴です。このような土地条件のもとで行われている農業のあり方について説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2017年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 限られた土地から高い収益を得るため、ビニールハウスなどを活用した施設園芸農業が中心となっている。 | 2. 広大な農地を効率的に管理するため、大型機械を活用した大規模な機械化農業が展開されている。 | 3. 寒冷な気候による被害を防ぐため、耕地面積を小さく抑え、小規模で多品目な栽培を行っている。 | 4. 土地の生産性を高めるために、多くの労働力を投入する労働集約的な稲作が広く行われている。 |
|---|---|---|--|
- 問13 積雪の多い地域の道路で見られる、道路の上方に矢印を掲げた「固定式視線誘導柱」という標識について、その仕組みや必要とされる背景を説明したものとして適切なものはどれですか。 (2021年 兵庫県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 地吹雪による視界不良を防ぐために、道路脇に設置された防雪柵が作動する範囲を運転者に伝える仕組み。 | 2. 路面が凍結しやすい場所に設置され、気温が一定以下になると矢印が自動的に発光してスリップ注意を促す仕組み。 | 3. 雪の重みによる路面の変形を確認するため、道路の測量地点を高い位置から特定しやすくする仕組み。 | 4. 道路の端（路肩）の位置を高い場所から指し示すことで、地面が雪に覆われた状態でも車道の範囲を知らせる仕組み。 |
|---|---|---|--|